

交換留学（派遣）帰国報告書

.....
留学先大学：ヴェネチア大学
留学先での所属学部・研究科：人文学科
留学先での在籍身分：交換留学生
留学期間：2015 年 9 月～2016 年 5 月
神戸大学での所属学部・研究科：国際文化学部
学年（出発時）：4
本報告書記入日：2016 年 6 月 29 日

1. 留学先大学について

1-1. 留学先大学の「学期」について

学年開始月日：9 月 11 日
学年終了月日：5 月 20 日

学期：

- ① 9 月 11 日～12 月 20 日
- ② 2 月 1 日～6 月 18 日
- ③ 月 日～月 日
- ④ 月 日～月 日

1-2. 留学先大学の特長、人気のある分野等

特長としては、日本語学科はイタリアで一番と言われており、日本語が堪能なイタリア人学生も沢山いる。日本語教育などに興味のある学生には非常にいい環境だと思う。その他学部としては人文・経済・言語・自然系学部などがあり、英語の授業も豊富に開講されているため幅広く興味に合わせ受講できる。

1-3. 留学先大学のサポートについて記入してください。

語学面でのサポート：

留学生向けのイタリア語の授業がレベル別に無料で開講される。(Summer school)
その他CLAという大学管轄の語学学校が€100ほどで別に開講している場合もあるが、教科書や指導方法はほぼ同じという話であった。

勉学面でのサポート：

そのようなものは特になかったと思う。授業についてやテスト登録などは自己責任で、サポートは手薄に感じた。

精神面でのサポート：

受けていないので詳しくは知らないが、悩み相談室のようなものが設置されていたような気がする。

住居・生活面でのサポート：

神戸大学はESUという斡旋団体から出国前に寮を紹介してもらえる。基本的には本島のSan Toma寮もしくはジュデッカ島のJunhans寮のどちらかになると思う。

課外活動のサポート：

ESNというエラスムスの学生向けに美術館巡りや小旅行、パーティーなどを行う団体があり、イタリア人以外の留学生と仲良くなることができる。

1-4. 神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか。



はい



いいえ

2. 住居

2-1. 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。（気をつけること等）

私は最後までESUより紹介されたSan Toma寮に住み続けた。しかし最初は寮に住んで、後に引越すことをお勧めする。理由は①探す手間やビザなどの関係上、最初は寮の方が手続きが簡単。留学生の友達もできやすい。②しかし基本的にキッチンがなく、ダブルルームなので生活環境的には快適ではない。それなのに割高であるし、清掃等で理解できないルールを設定されたりと面倒なことが多かった。同じ相場でより良い住環境の家を渡航後探す方が良い。友人で引っ越しをした中では、前期のうちに日本語学科の友達を作り、後期にその子が留学に行く際にアパートを引き継ぐパターン、もしくはFacebookでアパート探しのグループがあり、そこから自分でアポイントを取り探している人が多かった。

3. 生活について

3-1. 保険について

どのような種類の保険に加入したかを教えてください。

危機管理オリエンテーションで紹介されたもの。

また、現地で加入した保険があれば、ご記入ください。

特になし。

3-2. PC（パソコン）について

PCの保有の状況：■日本から持参した □現地で購入した □保有しなかった

住居内のインターネットへの接続の可否：□接続できた ■接続できなかった

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

San Toma寮にwifiはなく、USBキーを€100で購入するか(接続環境はよくないのであまりお勧めしない)、町のwifiを使用かになる。私の部屋は運よくVenice connectedという町のフリーwifiを拾うことができる位置だったので使えたが、基本的には共用スペースまで下りないと使えない。

大学でのPCの使用の可否：■使用できた □使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や日本語環境等について記入してください。

基本的に図書館には設置してあるが、台数には限りがあり非常に少ない。(多いところで15台ほど) コンピュートルームのようなものはなく、基本的にイタリア語環境。

3-3. 医療について

留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。

通わなかった。

健康管理あるいは衛生面について特に注意すべきこと。

ヴェネチアの水はイタリアの中でも特に水質が悪いようで、飲み水にはもちろん勧めない上、非常に抜け毛と乾燥が酷くなったため、毎日髪を洗うのは控えたほうがいいと思う。

3-4. 銀行口座について

留学先でお金を引き出せるように、どのように準備・手続きしましたか。

ジャパンネット銀行が最も出金手数料が少なかったため、口座を開き20万円ほど入金してから渡航した。不正出金対策も兼ね、無くなったらその都度少額入金してもらっていた。しかし基本的にはクレジットカードが一番レートが良いため、スーパーでもカードで買い物していた。

3-5. 異文化体験について

留学先の文化・社会（習慣の違い等）について記入してください。

非常に陽気で良くも悪くも適当な国だと思う。公共交通機関は時間通りに来ないし、待ち合わせで遅刻も多いし、窓口や役所の対応もぶっきらぼうに感じ、几帳面で真面目な日本人ほど最初は戸惑うと思う。しかしそれらも慣れればいい意味で心にゆとりが生まれるし、イタリア人自体は気さくで優しい人が多い。

大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトをもちましたか。

ダブルスクールの他、少なくとも2日に1回はバーカロと呼ばれるヴェネチア居酒屋や食料品店や市場、また朝食にカフェなど大学外に積極的に出向いた。学校の友人からは得られないような情報を教えてもらえたりもするので、ぜひ大学外の人と仲良くなしてほしい。

課外活動（ボランティア、インターンシップ、アルバイト等）をしましたか。

夜間にダブルスクールでパドヴァで開講されていたチーズのソムリエの学校に通った。イタリア語が飛躍的に上達しただけでなく、共通の趣味を持つ友人も出来、学校では学べないようなイタリアの食文化について沢山のことを教えてもらった。

留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。（安全性、外国人への態度等）

ヴェネチアは非常に安全で、深夜に出歩いてもあまり人もおらず危険はない。観光地なのもあり、基本的にはアジア人に対して冷たい印象だが、イタリア語で話しかけ打ち解ければ非常に気さくで親切に接してくれる人も多かった。

3-6. 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、教えてください。

イタリアでは就職活動はしていないが、日本の企業にエントリーシート(ネット提出可のもの)を送ったりwebテストを受けたりはしていた。

4. 経費について

4-1. 奨学金を受給していた場合、奨学金についてご記入ください。

(財団等名) JASSO , 80,000 円/月

5. アドバイス及び感想

5-1. 現地で参考となった留学先国の情報（出版物、ホームページ）を記入してください。

Abbicci (<http://italia-ryugaku.com/>)
A domani 滞在許可証について (<http://www.adomani-italia.com/ryugaku-info/visitor-paper/>)

5-2. 日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。

耳かき、爪切り、洗濯ネット、たこ足電気コード

5-3. 留学することによって得られたことについて記入してください。（語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等）

※ 語学力については、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。

留学前：(A2程度) 点→帰国後 (B2程度) 点

渡航前は言いたい事は言えるが返答が理解できないことも多いレベルだったが、帰国前には会話程度と専門用語が多すぎない授業であれば7割程度理解できる程上達した。キャリアに関しては漠然と食に関わる仕事がしたいと思っていたが、よりイタリアに関わることができるような専門商社などを志望するようになった。

5-4. 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。

一番大変だったのはやはり滞在許可証の手続きだと思う。最初のイタリアに慣れない状態で、詳しい情報や大学のサポートもあまりない中（必要事項をWelcome deskに書いてもらったが間違っていた）行わなければならなかったため困難だった。警察での書類提出や受け取りの際も手間がかかった。同じ日本人留学生やイタリア人バディと助け合いながらなんとか達成できた。

5-5. 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。

留学前に起きたトラブルであるが、入学許可証の原本が国際交流課宛てに郵送されてくる予定だったのが届いておらず、危うくビザが取れなくなりそうだった。サポートが無いくらいの気持ちで必要書類や事項は自身でしっかり確認すべきと思う。

5-6. 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。

勧める。プログラムとして確立されているため、手続き等においてもサポートを受ける事が出来るし、ヴェネチア大学では留学生は学部横断して授業を受けることができるなどのメリットがある。そして私費留学で自分でアポイントをとって通うには難しいような大学に通うことができるのは魅力的だと思う。

5-7. 留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。

（5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価）

- ・留学先大学の授業の「質」（内容、レベル等）に満足しましたか： 4
- ・留学先大学の学生サービスに満足しましたか： 3
- ・留学先の住み心地（安全性等）に満足しましたか： 3
- ・住居の「質」（広さ、料金等）に満足しましたか： 2
- ・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか： 4
- ・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか： 4
- ・留学全体の総合的な評価： 4

その他 自由に記入してください。（800字〜）

私自身は、このプログラムを通しヴェネチアに留学できて本当に良かったと思っています。観光地なのでシーズンは図書館に向かうのも大変だったりするが、やはり唯一無二の水の都に住めることは素晴らしい経験だと思う。しかしイタリアはやはりとても適当な国で、役所や警察での手続きで戸惑うことが多いと思う。特に滞在許可証(permessso di soggiorno)の取得は最初の難関となると思うので、事前に情報を仕入れるのが望ましい。

ヴェネチア大学は日本人留学生や日本語を勉強しているイタリア人学生が非常に多いため、困ったときには助け合えたり友達もできやすいので、上手く関わればとてもいい環境である。しかし逆に言うと日本語だけで生活できてしまう環境でもあり、私自身最初の頃は甘えてしまっていたことを反省しているので、せっかく留学に行くのであれば日本人以外の友人も沢山作ってイタリアでしかできない経験をしてほしいし、イタリア語もぜひ習得してほしいと思う。毎日、生のイタリア語に接する機会があるので、努力すればいくらでも上達できる。

大学ではどうしても日本語学科の生徒と関わる機会が多くなると思うので、個人的なアドバイスとしてもボランティアでもイベントでも旅行でも何でもいいので思い切って大学以外の環境に足を踏み入れてみるといいと思う。私はダブルスクールで通った学校で本当にいい友人と出会え、自分の世界も広げることができたし、思いもしなかった面白い経験や人に沢山出会うことができるはずである。私も最初はどうも喋れなくて落ち込んだ時もあったが、毎日外に出て少しでも誰かと話そうという気持ちでいると、いつの間にか留学が楽しくて仕方なくなった。実際に様々なイタリア人と関わることで、良いところも悪いところも沢山見る事になったが、とりわけイタリア人の褒め上手なところと人を喜ばせることが好きなのところに感銘を受けた。余談かもしれないが、彼らが陽気で気さくなのは他人との直のコミュニケーションが多く、他人の目を気にし過ぎず自分らしく生きているところにあると思う、価値観や性格を大きく変えられたポイントだった。

私はこのイタリア留学を経てよりイタリアが好きになったし、学んだ事や語学などは、今後も是非活かしていきたいと思っている。